なないろ（樽町）事業所自己評価シート

2025(令和 7) 年度

職員による自己評価

A環境面
・子どもたち、スタッフは検温等を行い日々の体調管理に繋げている。
・発達支援室やトイレも広く、フロアへ目が行き届きやすい環境。
・机や壁面の角にクッション材をつけて安全対策を施している。
B児童への支援内容
・朝礼やミーティングにてヒヤリハットの共有をして日々の支援へ役立てている。
・個別／集団活動のプログラムをチームで立案し取り組んでいる。
C関係機関との連携
・管理者、児発管が保護者様や各関係機関と連携を取っている。
D保護者様への説明責任・信頼関係
・日々の連絡帳での共有や送迎時及び電話等で意思疎通している。
E非常対応
・年２回以上の避難訓練を実施している。
・ミーティングや研修を定期的に行っている。

保護者による評価

A環境面
・活動スペース確保が十分である。
・事業所のバリアフリー化。
・静養スペース(勉強部屋)が確保されている。
B児童への支援内容
・子どもにあった個別プログラムの他、集団活動における支援の工夫がされている。
・子どもたちの自主性を尊重した支援に取り組んでいる。
・子どもの成長を共に喜んでくれることが嬉しく、心強く思う。
・怪我など、有事の際にも細かく情報共有・対応をしてくれている。
C事業所からの情報発信
・SNS（facebook で日々の様子をお伝えしています)。
・「なないろ通信」を毎月発行し、活動内容や事業所連絡事項等を発信している。

D非常対応
・避難訓練の実施（最低年間 2 回)。
・緊急時の避難場所や対応方法の説明がある。

事業所内での分析

【共通点】
・保護者様 学校 事業所との連携がとれている。
・災害時の訓練を実施している。
・利用者様の状況に応じて５領域(健康・生活/運動・感覚/認知・行動/言語・コミュニケーション/人間関係・社会性)に則した支援プログラムをおこなっている。

【相違点】
・中学校や高校に進級する際に、情報を共有し意見を交換できる場があっても良いと思う。
・地域や外部の人々との繋がりを増やすことで、社会的コミュニケーションの支援にも繋がると思う。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・外出活動を沢山取り入れてくれている。

・怪我など、有事の際にも細かく情報共有ができている。

・保護者様からの相談、関係機関等への対応が迅速にできている。

・子ども達の意見を取り入れながら支援にあたっている。

事業所の改善点

・各関係機関との連携をさらに強化していく。

・スタッフ間の連携を強化することで、より楽しく安定した支援につなげていく。

・保護者様との連携を大切にし、日々の様子や小さな変化を丁寧に伝えながら、支援の方向性をすり合わせていく。

事業所の改善への取り組み

・保護者様、各関係機関とさらに連携をとり、より安定した支援を心がける。
・ＢＢＱなど、課外レク開催時に保護者様の参加を検討していく。
・事業所周辺で行われるイベントに積極的に参加をすることで、より地域や外部の人々との交流を増やしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度は、評価表へご協力いただき誠にありがとうございました。
皆さまから貴重なご意見をたくさんいただき、感謝申し上げます。
特に「子ども達が楽しみにしている」とのご意見を多くいただきました。これを励みに、今後も多彩な活動プログラムを取り入れ、保護者の皆さまや利用者の方々の満足度向上を目指して、より良い支援を提供してまいります。
引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事業所名　放課後等デイサービスなないろ
担 当 者　大重　沙耶